

授業科目 病態生理・治療学Ⅱ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
林 千治、秋山 政人		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 病態生理・治療学Ⅰ（前期）で学んだ内容を基礎として、主たる内科疾患を学ぶ。また、その応用として、老年学や老年期に特有な疾患の知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 内科系の疾患数は膨大であり、このすべてをこの授業で理解するのは不可能である。各職種が臨床の場においてよく遭遇する疾患や、処置に注意を要する疾患について、その基礎知識を身に付けることを目標とする。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	内科各論 1	循環器疾患Ⅰ（先天性心疾患と後天性心疾患）			講義（林）
2	内科各論 2	循環器疾患Ⅱ（刺激伝導系の異常と不整脈、心電図）			講義（林）
3	内科各論 3	循環器疾患Ⅲ（心電図の見方；危険な不整脈、虚血性心疾患）			講義（林）
4	内科各論 4	呼吸器疾患			講義（林）
5	内科各論 5	消化器疾患 1 消化管疾患			講義（林）
6	内科各論 6	消化器疾患 2 肝臓・胆管系、膵臓疾患			講義（林）
7	内科各論 7	腎、泌尿器系疾患、電解質異常			講義（林）
8	内科各論 8	内分泌・代謝疾患			講義（林）
9	内科各論 9	血液疾患			講義（林）
10	老年病学 1	老化とは、老年者の疾患の特異性			講義（林）
11	老年病学 2	高齢者の循環器疾患・呼吸器疾患			講義（林）
12	老年病学 3	高齢者の消化器・腎泌尿器系疾患、電解質異常			講義（林）
13	老年病学 4	高齢者の免疫・感染症、血液・内分泌・代謝異常			講義（林）
14	老年病学 5	高齢者の運動器・感覚器・皮膚・精神疾患			講義（林）
15	内科・老年病学	まとめ			講義（林）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		オリジナル			
参考書		ナーズの内科学（5版）	越川昭三（編）	中外医学社	2001・8,000円
		老年期医学テキスト	日本老年医学会（編）	Medical view	1997・6,500円
その他の資料		プリントで配布する。			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
試験のみ		前期の病態生理・治療学Ⅰを履修すること			